

881

18 - 2 - 24

第 號

在長春田代領事ヨリ幣原外務大臣宛

長春 昭和六年十月二十二日附

同 六年十月二十七日着

別紙添附

公信機密第四九五號

日支軍衝突ト當地方狀況ニ關スル件

本件其後ノ狀況推移ニ關シテハ都度電報又ハ公信ヲ以テ報告ノ通りナルモ尙茲ニ右補足旁別紙報告ス

本信寫送付先 在華公使、北平、南京、吉林、奉天、哈爾濱

鐵嶺、遼陽、安東、牛莊

外務省

9.12

IMT 361

152

31

0150

881

ニ從ヒ事實排日ノ氣運澎湃トシテ抬頭シツツアルハ争ハレサル事實ニシテ注目ニ値ス

外務省

9.9

IMT 361

151 30

0149

REEL No. A-0193

アジア歴史資料センター

別紙



(一) 長春ハ其後支那街治安維持善處ノ爲メ憲兵分隊本部ヲ市公安局内ニ移シ分隊長(憲兵少佐)以下十一名同局ニ親シク市ノ治安ヲ督勵シ縣公安局長亦同本部ニ日來相連絡スル外寛城子路警處ニ出張セシメアル三名ノ憲兵ニモ分隊長ヨリ篤ト旨ヲ含メ事情ノ精通ト相俟ツテ完全ナル警備並ニ保護ノ任務ヲ期シツツアリ支那側長距離電話ハ本月一日ヨリ日本語ニ限り通話ヲ許シ次テ十二日ヨリ日本郵便局ニ於テ交換監視スルノ條件ニ依リ支那語ノ通話ヲモ許スコトトナリ電報モ亦十四日ヨリ復舊セシメ大東報、益民時報ニ對シテモ排日記事不穩記事ヲ掲載セス我軍ノ意ノアル處ヲ傳フルコトニ忠實ナルヘシトスル條件ニテ三日以來刊行ヲ許シ軍司令官、守備隊司令官、警備司令官、憲兵分隊長ヨリハ夫々數回ニ亘リ告示ヲ發シ市街要處並ニ新聞ニ之レヲ揭示シ帝國軍部ノ肅懲セントスル處ハ東北軍憲ニシテ善良ナル一般民生ニハ關係ナシ宜シク業ニ安ンシ居ヲ移スカ如キコト無キ様或ハ商用電話電信ノ復活ヲ許シ

外務省

0.12

IMT 361

153 32

0151



タルヲ傳へ又帝國軍部ハ東北三千萬民生ヲ暴戾ナル東北軍權ノ手ヨリ救ヒ東北繁榮ノ基礎ヲ確立セントスルモノナリ云々ト慰撫ニ努メ支那側モ亦公安局其他ニ於テ日本軍ハ良民ヲ保護スヘク支那側關係機關ト協調シツツアリ流言蜚語ニ迷ハサルコト無ク業ニ就クヘキヲ諭シツツアリ從テ市面概シテ平穩ニシテ當地來往ノ内外視察者モ當地地方ノ平常ト異ナラサル狀況ヲ見テ案外ノ印象ヲ受ケツツアリ尤モ憲兵隊ノ活動ハ外交協會ヲ解散シ各支那側學校ヘノ排日教材捜査トナリ支那郵便物ノ檢閲、電話電報ノ監視檢閲法院並ニ縣政府ヘノ手入(收監中ノ朝鮮人ノ釋放ヲ強要シタル由ナルカ在監者無シト稱シ萬一ヲ恐レ秘カニ放免シタル形跡アリ)ハ容易ニ日本ノ告示諭告ヲ信セサル種トナリ又南嶺ヘノ冬營建設飛行機場商租、金融ノ監視、市政ヘノ劃策等相次イテ起ル事態ニ對シ市民ハ表面平靜ヲ保チツツアルカ如キモ各種ノ謠言ハ陰ニ流布サレ内心未タ穩カナラサルモノアルヤニ認メラレ殊ニ學生ノ如キ

外務省

0.12

IMT 361

154 33

0152



トシ邦人数名亦顧問或ハ諮議トシテ之レニ参加セルカ右ハ不自然ナル道程ノ下ニ生シタル結果トシテ幹部支那人側ニ熱無ク未タニ豫算ノ編成出來上ラス公安分局（現在二十六名）ハ依然トシテ我憲兵隊ノ支配下ニ四洮局亦我軍監視ノ下ニアリ同局長何瑞章ハ過度ノ神経衰弱ニ罹リ副局長ハ二十四日北平ニ走リテ歸任セス局員半數ハ缺勤シ客年六月組織サレタル同局員ノ同人協進會ナル排日運動結社ハ本月十日我憲兵分遣隊ノ活動ニヨリ解散サレ奥地特産物ハ出過リ杜絶シ市況振ハス

外務省

IMT 361

156 35

0154



ハ今尚ホ各學校ヲ通シ出席者三分ノ一ニモ達セス省立第二中學並ニ第二師範縣立女學校ハ十一日我憲兵隊ノ大捜査ニ遭ヒ爾來登校者寥寥孰レモ休校ノ姿トナリ尚ホ十五日市公安局ハ局長更迭トナリ新任局長ノ人望前任者ノ如クナラス他ノ同局幹部ニモ當地ヲ去ルモノ出テントシ我軍努ムル處アルモ事變早々ノ際市民一般ニ全ク常態ニ復セリトハ稱シ難シ

(二) 公主嶺支那街ニハ其後懷德縣地方治安維持會公主嶺分會ナルモノ本月十一日ニ成立シ本部主席懷德縣知事趙澤民ノ參列ヲ得テ商會主席程志遠分會主席トナリ常任幹事十二名公安係主任ニ公安分局長黃雲階ヲ以テシタルカ治安維持ノ監督ハ依然トシテ同地我憲兵隊ニ依リ行ハレ支那郵便物ノ檢閲モ亦長春ト同時ニ開始サレ縣立第三小學校ハ三百二十名ノ學生中登校者僅カニ三十名市民一般ノ不安ハ未タ去ラス

(三) 四平街支那街ニモ市政公署ナルモノ組織サレ同地支那要人ヲ幹部

外務省

IMT 361

155 34

0153



881

セシメ然ル後新主權者トノ間ニ有スル(權利)ノ契約ヲナシ支那トノ外
 交交渉落着ノ上ニ於テモ右契約ヲシテ有故ナラシメ將來ノ地盤ヲ築
 カントスル目的ノ計畫ナリ尙岩間等ハ此ノ渡支ノ機會ヲ利用シテ
 故ヲ頼リテ餞別ノ強請ヲナシ歩キ居リ、爲ニ迷惑ヲ蒙リ居ル者多數
 アリ相當警戒スルノ必要アルモノノ如シ

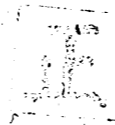
外務省

9.12

IMT 361

158 37

0156



Doc. 529
18-2-25

881

(別紙)

暴力團員ノ渡支計畫(情報寫)
 市外大崎町居住岩間廣ハ傷害、暴行等ニ依リ前科數犯ヲ累ネ目下ハ
 數十名ノ部下ヲ有シ表面土木賃請業ト稱シ居ルモ純然タル暴力團員
 ナルカ今回支那各地ノ動亂ヲ機トシ部下六名ト共ニ來ル十九日夜東
 京驛ヲ出發敦賀ニ赴キ二十一日同地出帆間島ニ直航シ同地在住ノ同
 志ト共ニ支那人ノ服裝ヲナシ朝鮮人ノ部落ニ入り込ミ掠奪虐殺等ノ
 暴行ヲナシ表面恰モ支那殘兵ノ行爲ナルカ如ク見セガケ日本軍隊ノ
 出動ヲ爲サシムルノ口實ヲ作ルノ役廻リニ從事スル事トナリ目下渡
 支ノ準備トシテ銃ノ入手ニ苦心シ居レリ岩間等ノ後援者ハ目下間
 島在住中ノ元憲兵司令官石光中將及石本男爵ノ嗣子工學士石本某等
 ニシテ岩間等ノ旅費ハ石本ヨリ送金シ來リタルモノナリ石本男、石
 光中將等ハ在支那及新規ニ呼ビ寄せタル暴力團員等ヲ利用シテ前記
 ノ如ク暴行ヲナサシメ之ヲ支那兵ノ行爲ト稱シテ軍隊ノ出動ヲナサ
 シメ現在間島ノ主權者ヲ放逐シテ意中ノ支那人ヲ脅迫的ニ獨立ヲ宣

外務省

9.12

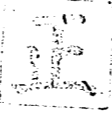
IMT 361

157 36

0155



Doc. 529
18-2-25



881

(別紙ニ)

前記情報ニ基ク事實調査ノ件

原籍 東京市下谷區入谷町百十番地、平民戸主信吉次男
出生地 山梨縣甲府市壽町八十二番地
住所 東京府下大崎町谷山二十五番地

土木建築(負請)業

河合徳三郎乾兒岩間廣事

岩間 賀四郎
當三十六年

一 經歷

本人ハ表面土木建築(負請)業トシテ日本橋方面ニ小泉組ト稱シテ事業ヲ經營セシ事アルモ現在ハ河合徳三郎ノ乾兒トシテ暴力團ニ等シキ行動ヲトリ露國人アンケイホフ狙撃犯人佐藤信勝及同人兄佐藤徳太郎トモ親交アルモノナリ
不穩事實

現在滿洲方面旅行中ノ石光中將、石本惠吉男爵等ノ計畫ノ許ニ石

外務省

0157

IMT 361

159 38

881

本男爵ノ秘書ト稱スル原宿附近住居吉田中將ノ息吉田清志ノ勸メニ依リ内地ヨリ三十名計リノ暴力團ヲ連レ本月二十一日敦賀出發便船ニテ渡滿ノ計畫中ニシテ目的ハ朝鮮雄基鐵道視察ノ爲瑛春ニ行クト稱シ居レルカ尙其ノ言フ處ニ依レハ今回ノ行ハ命ヲ賭スル仕事ニシテ、無事ナルヲ得ハ來年一月頃歸京スルヲ得ベシトテ目下出發準備ノタメ各方面ニ奔走中、軍人ノ間ヲ往復スル事繁キガ如シ

尙岩間ノ言フ所ニ依レハ

一 瑛春ニ行ツテ吾々ガ何か事件(朝鮮人虐殺ナラン)ヲ起シ陸軍ガ其レヲ口實ニシテ瑛春地方ヲ占領スルモノナリ云々
一行ノ旅費ハ前記石本男ノ秘書吉田清志ヨリモ支出スルガ尙河合徳三郎(政友派府會議員)、佐藤徳太郎ヨリモ五、六百圓位支出アル筈ニテ一行ノ家族ハ麻布區飯倉三ノ二五關根實(民政黨院外團)ガ引受ケ後顧ノ憂ナカラシムル趣

外務省

IMT 361

160 39

0158

REEL No. A-0193

Doc. 529
18-2-25

881

(別紙
三)

(前略)

石本惠吉ヨリ佐藤徳太郎宛書簡寫
(九月二十九日付)

次ニ當地方モ御承知ノ如ク不安ノ空氣ニ包マレ居リ候處愈々同志及朝鮮官憲及陸軍トノ話合ヒノ結果十月末日迄ニ義勇兵ヲ以テ瑣春ヲ占有スル計畫ヲ極秘ニ決定候ニ付十四五人ノ部下ヲ糾合シ置キ小生ヨリ電報アリ次第雄基港ニ敦賀ヨリ直航セラルル様御手配下サレ度候從ツテ吉田清志君ハ萬障繰合ハセノ上單身コノ手紙ヲ見次第大兄ノ返事ヲ持テ當地ニ直行セラレ度候
コノ件特ニ特ニ嚴秘ナレバ其ノ事十二分ニ御含ミ置キ下サレ度候大兄等ノ出發ノ要事ハ倉庫會社ノ名目ヨロシカラント存候
カカル次第ナレバ軍用金入用ニテコレ又御心配願上候

敬具

外務省

IMT 361

162

41

0160

881

今後ノ行動
本月十八日五反田、壽壽川料亭ニテ送別會アル筈(戸澤司法參與官モ出席ノ由)東京出發ハ本月二十日時間其他未定、二十一日敦賀港出航

外務省

IMT 361

161 40

0159

48 - 2 - 26

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月廿六日前發

同 六年十月廿六日前着

電信第一一一一號(暗)

往電第九九八號ニ關シ

一 自衛警察ハ其後四千名ニ増員スルコトトシ廿四日現在二千六百三

十三名トナレリ右ニ要スル費用ハ市政公署負擔トス

ニ 保安隊ノ員數ハ現在ノ儘トス

三 自衛警察局及保安警察隊ノ警備上ノ指揮監督權ハ憲兵隊長ニ屬ス

四 自衛警察局及保安隊ノ人事上ノ監督權ハ奉天市長ニ屬ス

五 奉天市商會ノ組織スル商團ノ警備上ノ監督ハ憲兵隊長ニ屬ス

以上軍側ヨリ廿五日附正式ニ通知アリタリ

支、北平へ轉電セリ

外 務 省

0161

163 42

IMT 361

18 - 2 - 27

第 號

關東軍參謀長ヨリ參謀次長宛

昭和六年十月廿四日前發

同 六年十月廿四日後着

電信關參第八二二號(秘)

四平街南方約二千杆上、下二台附近ニハ數日來敗殘兵ヲ交ヘタル匪

賊二、三百名來襲^シ鮮民ヲ虐殺シ收獲^セル穀類ヲ掠奪スル等暴虐ノ

限リヲ盡シ鮮民ノ身ヲ以テ四平街附近ニ逃レ來ルモノ多數ナルヲ以

テ四平街ノ守備隊ヨリ獨立守備隊ノ大隊長以下約二中隊討伐ノ爲本

二十四日早曉出動セリ

外 務 省

0162

164 43

IMT 361

18 - 2 - 29

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月廿八日後發

同 六年十月廿八日後着

電信第一一二五號(暗)

本官發海龍宛電報第二二號

貴電第二八號ニ關シ

于芷山ノ代表二十七日來奉直接軍側ニ出向キ(一)于ハ東邊保安司令ニ
就任シ從來ノ管轄區域タル二十三縣ヨリ撫順本溪湖鳳城岫巖莊河
安東ノ六縣ヲ除キタル地域ニ於ケル治安ノ維持ニ當ルコト(二)同人ハ
行政並徵稅ニ當ラス各縣ハ自治ヲ行ハシメ追テ任命サルヘキ省長ノ
指揮ニ從ハシムルコト(三)于ノ兵員維持費トシテ年額百二十萬元ヲ省
ヨリ支出スルコトニ諒解成リ今後于芷山ハ充分本邦人ノ保護ニ當ル
コトトナリタル由ナリ尙軍參謀ノ説明ニ依レハ軍トシテハ別段貴電

外務省

0.12

IMT 361

166 45

0164



18 - 2 - 28

第 號

關東軍參謀長ヨリ參謀次長宛

昭和六年十月二十六日後發

同 六年十月二十六日後着

電信關參第八四八號(其一、二秘)

本二十六日夕左記ノ通り公表セリ

去二十日ヨリ二十三日ニ亘リ鄭家屯一洮南間ニ支那官兵ヲ交ヘタル
約千名ノ匪賊現レ鐵道各驛ヲ掠奪破壞スルト共ニ列車襲撃ノ目的ヲ
以テ軌道ヲ外シ電線ヲ切斷シ鐵道ノ運行並通信杜絶シ洮南、鄭家屯
並沿線在任數百ノ邦人危險ニ陥リツツアリ
軍ハ該鐵道ノ本質カ日本ノ擔保ニ屬スルト交通ノ幹線ナルトニ鑑ミ
之カ守備ト邦人ノ保護トニ任スル目的ヲ以テ本二十六日在長春部隊
ヨリ步兵若干部隊ヲ鄭家屯ニ増加派遣セリ
北平、天津、朝鮮、濟南、上海、哈市濟

外務省

0.12

IMT 361

165 44

0163



第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月廿八日後發

同 六年十月廿八日後着

電信第一一二六號ノ一(暗)

(一)沿線諸地ニ於ケル縣政府ニシテ自治委員會或ハ治安維持委員會等ノ名稱ノ下ニ自治機關ニ改變シタルモノハ今日迄ノ處安東、開原、鐵嶺、鄭家屯、撫順、昌圖、四平街、本溪湖、海城、蓋平、營口、鳳城ノ十二縣ニ及ヒ居ル處關係各官ノ報告ニ依リ御承知ノ通系統ヲ異ニセル浪人ノ策動ニ依レルモノ或ハ地方民ノ自發的意圖ニ基ケルモノ等地方ニ依リ事情ヲ異ニセル結果其ノ組織構成人員等モ必スシモ同一ナラス

(二)右事情並將來省政府成立ノ場合ニハ前記縣自治機關カ其ノ下ニ隸屬スヘキ關係ニ在ルニ鑑ミ今回軍側ニテハ內面的ニ地方自治ヲ指導

外 務 省

9.12

IMT 361

168 47

0166

第二六號中段辭令交付等ノ如キ形式的措置ヲ執ルノ意向ナク從來仲介者介入等ノ爲此邊ニ付誤解アリタルカ如キモ今回ノ直接面談ニ依リ充分了解ヲ遂ケ得タルニ付今後同人ノ本邦人保護ノ措置ニ付テハ善惡共ニ領事館ヲ通シ通報ヲ得タシトノコトニ付右御含ニテ當方ニ隨時御通報相成度シ

大臣、吉林、安東、通化へ轉電セリ

外 務 省

9.12

IMT 361

167 46

0165



第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月廿八日後發

同 六年十月廿八日後着

電信第一一二六號ノ二(暗)

(イ) 縣ニハ地方自治指導部ノ下ニ立ツヘキ縣自治指導委員會ヲ設ケ縣自治執行委員會ヲ指導監督セシメ右指導委員會ハ事實上日本人ヲ主体トスルコト

(ニ) 尙別ニ自治監察部ヲ設ケ縣自治ニ對スル監察ヲ行ナハシメ又自治指導員訓練所ヲ設ケ自治指導員ニ對スル訓練ヲ行ハシムルコトニ方針ヲ定メタルカ自治指導部ニハ青年聯盟ニ屬スル滿鐵社員ヲ充ツル由ナリ

(三) 二十八日軍側ニテハ右方針支持ノ爲各地ノ守備隊長憲兵隊長ヲ集合シタルカ右席上三宅參謀長ハ本件地方自治ノ施行並ニ前記方針ハ

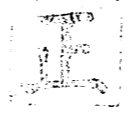
外務省

0.12

IMT 361

170 49

0168



助成スルノ見地ニ基キ先ツ滿鐵沿線各縣ニ之ヲ施行シ漸次他ニ及ホスコトトシ
(イ) 縣ハ完全ナル地方自治トシ縣自治執行委員會ヲシテ之ニ當ラシムルコト
(ロ) 省政府ノ外ニ地方自治指導部ヲ設ケ右ニハ支那人ノ外ニ日本人ヲ入ルルコト(續ク)

外務省

0.12

IMT 361

169 48

0167



18 - 2 - 31

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月廿八日後發

同 六年十月廿九日前着

電信第一一三一號(暗)

海龍發本官宛電報第二六號(廿三日後)

山城子ニ滞在中ノ平佐一行四名(内商人二名)ハ廿二日朝陽ニ到リ
 一泊本朝當地ニ來リ當館ヲ訪ネ午後山城子ニ歸レル處其日平佐ハ本
 官ニ對シ今回同人カ山城子ニ來レルハ我軍ノ内命ニ依リ于芷山ト會
 見シ(一)我軍ヨリ于ニ保安司令就任ヲ命シ東邊治安維持ニ必要ナル兵
 員ヲ給シ且兵員一名ニ付年額二十元宛ヲ支給ス(二)各縣ハ自治ヲ行ハ
 シメ追テ任命サルヘキ省長ノ指揮ニ從ハシム(三)于ニハ專ラ馬賊並不
 邊鮮人ノ討伐ヲ行ハシメ奏效セル場合ニハ其都度賞金ヲ與フルコト
 トシ内政ニハ絶對ニ關與セシメス等ノ内容ヲ有スル辭令寫ノ交付ヲ

外務省

9.12

IMT 361 172-51

0170

全ク内部ニ於ケル關係ニ止マリ我方ニ於テ實ヲ上クルヲ主眼トスル
 カ故ニ右ハ絶對ニ外部ニ現ハスコトナク又現在自治制施行中ノ各縣
 中ニハ其治績ヲ着々舉ケツツアルモノ鮮カラサル趣ニ付本件ハ必ス
 シモ現在ノ制度ヲ根本的ニ覆シ又ハ現在ノ人員ヲ入替ヘントスルカ
 如キ趣旨ニ非サルニ依リ右ノ點ニ特別ノ注意ヲ加ヘ各地ノ狀況ニ依
 リ其適當ト認ムル處ニ從ヒ地方自治ノ實現ニ力ムヘキ旨篤ト訓示ス
 ル處アリタリ
 支、北平、在滿各領事ニ轉電セリ

外務省

0.12

IMT 361 171 50

0169

13 pages

881



18 - 2 - 32

第 號

在安東米澤領事ヨリ幣原外務大臣宛

安東 昭和六年十月二十八日附
同 六年十一月二日着

別紙添付

公信機密第六二四號

中日軍衝突事件ニ關シ管内狀況報告ノ件

本件ニ關シテハ本月九日附拙信機密第五七四號ヲ以テ七日迄ノ狀況
及報告置タル處其ノ後ノ狀況取纏メ御參考迄別紙ノ通報告申進ス

本信寫送附先

公使、北平、奉天、在滿各領事

朝鮮總督府外事課長

外務省

0.12

IMT 361

53
174

0172

881



爲ス目的ナルカ于ハ目下病ニテ面會不能ノ爲其回復ヲ俟チ之ヲ傳達
スル意嚮ナリト述ヘ且于カ之ヲ承諾セハ追テ我軍ハ特使ヲ派シ正式
辭令ヲ于ニ與フルコトセル次第ナルカ其際島本大隊長ハ一個大隊
ヲ裝甲車ニテ引率シ特使ヲ護衛シ山城子ニ乘込ムヘシ又吉林駐在軍
ハ不日奉天駐在軍ト交替ノ際旅團長ノ意嚮ハ瀋海線ニ依リタキ希望
ナルモ師團長ハ不贊成ニ付如何ナルヘキヤ云々ト述ヘタリ
吉林へ暗送セリ

外務省

0.12

IMT 361

173
52

は(3)

0171

REEL No. A-0193



アジア歴史資料センター

Doc. 529
18-2-32

(別紙)

中日軍衝突事變後ニ於ケル管内各地ノ狀況

(自十月八日
至十月十八日)

甲、安東ノ狀況

一、軍側ノ活動

ノ軍ハ中國側ノ懇請ニ依リ襲ニ押收シタル銃器彈丸ノ一部ヲ警備用トシテ縣商埠水上ノ三公安局ニ還付スルノ必要ヲ認め九日左記ノ通下渡セリ

長銃 四十挺

實包 四百發

拳銃 四十七挺

實包 七百五十發

2. 軍ハ錦縣政府ノ樹立ニ策動スル張學良系人物ノ脱出ヲ防止スルカ爲當地中國街埠頭ヨリ鴨綠江ヲ下航スル船舶ニ對シ九日ヨリ臨檢ヲ開始セルカ英人「ジー、エル、シヨウ」ノ經營ニ係ル怡隆洋行ノ船舶ニモ臨檢シ一時物議ヲ醸シタルカ本官ノ

外務省

0.12

IMT 361

175 54

0173

IMT 361

176

55

0174

調停ニ依リ其ノ後第三國船舶ニ對スル臨檢ハ之ヲ中止シ江岸棧橋ニ於テ乗降客ニ對シ取調ヲ爲スコトニ變更シタリ
3. 軍ハ時々鮮支人ニ對シ諸種ノ宣傳ヲ試ミツツアル模様ニシテ平壤飛行隊ハ十二日當地上空ヲ飛行シ今次事變ノ原因ハ遼寧腐敗軍閥カ故意ニ事ヲ構ヘタルニ因ルモノニシテ邦軍ハ目下鐵道ノ守備及治安ノ維持ニ努力シ居リ滿洲各地ハ漸次平穩ニ歸シツツアリ中日良好ノ國民間ニ於テハ何等ノ敵對行爲アルヲ許サス相和シテ業ニ勵ムヘキ旨ノ宣傳文ヲ撒布シタルカ同飛行機ハ更ニ寬甸方面ニ至リ鮮支人ニ對シ同様ノ宣傳ヲナシタリ又當地憲兵隊ニ於テハ關東軍司令部ヨリ各地守備隊宛送付シ來レル「張對不來了」ト題スル宣傳文ヲ十三日支那街一體ニ貼付セリ
4. 安東憲兵隊ハ當地排日ノ巨頭ト目サレ居タル安東縣教育局長李毓鏡ヲ一時拘禁シテ取調ヘ居タルカ十五日王縣長ヲ立會シ

外務省

0.9



メ嚴重ナル訓戒ヲ與ヘ將來ヲ誓ハシメテ釋放セリ

5. 中國便衣隊三百名張學良ノ密令ニ依リ日本軍暗殺ノ目的ヲ以テ海路三道浪頭方面ヨリ侵入スヘシトノ情報アリ軍側ニ於テハ一方公安局ヲ鞭撻シ嚴重警戒セシムルト同時ニ他方新義州守備隊ノ一部ハ十五日ヨリ該地方面へ出動シ出入船舶ニ對シ監視ヲナセリ

6. 當地附屬地ノ警備ヲ擔當シ居タル新義州守備隊約一個中隊ハ朝鮮軍司令部ノ命令ニ依リ十六日新義州ニ引揚ケ當地附屬地ノ警備ハ警察ニ於テ之ニ當ルコトトナレリ尤モ鴨綠江鐵橋右岸ノ警備ハ從來ノ通り同隊ニ於テ之ヲ行ヒ居レリ

7. 關東軍司令部ノ方針トシテ當地及營口ニ於テハ中國側ニ對シ積極的指導ヲ爲スコトトナリタル趣ニテ連山關獨立守備隊第四大隊長板津中佐ハ十四日來安シ當地治安維持委員會ニ對シ其ノ施政ノ實質ヲ改善スルト共ニ排日風潮ヲ斥除シ親日傾向ヲ助長スル様裏面ヨリ指導監督ヲ試ムルコトトナリ當地邦人有力者ヲ網羅シ軍部ニ對スル諮問機關ヲ組織シ其ノ事務所ヲ當地滿鐵地方事務所内ニ置ケリ尙軍部ノ方針トシテハ張學良並南京政府ノ政權ハ之ヲ排除シ治安維持委員會ニシテ新政權樹立ニ對スル過程ヲラシメシメ從ツテ從來ノ機關ハ實質ニ於テハ之ヲ存置スルモ一應ハ之ヲ廢止シ更ニ鑑テ治安維持ノ委員ヲシテ任命セシムルコトトスヘシトノコトナリ

8. 鴨綠江鐵橋側中國海關監視所ノ移轉ニ關シテハ前報並往電所報ノ通ナル處目下向寒ノ折柄現狀天幕張ノ儘ニテハ職務執行困難ナルニ依リ其ノ改善方ニ關シ關係者間ニ於テ接洽中ナリ

ニ 中國側ノ狀況

1. 當地治安維持委員會ハ本月十日王縣長ヲ委員長トシ委員六名ヲ以テ愈正式ニ成立シ邦人金井佐次ヲ顧問トセルカ同會ハ治安ノ維持ヲ其ノ目的トシ政治的目的ノ存セサルコトハ委員等

外務省

9. 9 IMT 361 178 57 01764

メ嚴重ナル訓戒ヲ與ヘ將來ヲ誓ハシメテ釋放セリ

5. 中國便衣隊三百名張學良ノ密令ニ依リ日本軍暗殺ノ目的ヲ以テ海路三道浪頭方面ヨリ侵入スヘシトノ情報アリ軍側ニ於テハ一方公安局ヲ鞭撻シ嚴重警戒セシムルト同時ニ他方新義州守備隊ノ一部ハ十五日ヨリ該地方面へ出動シ出入船舶ニ對シ監視ヲナセリ

6. 當地附屬地ノ警備ヲ擔當シ居タル新義州守備隊約一個中隊ハ朝鮮軍司令部ノ命令ニ依リ十六日新義州ニ引揚ケ當地附屬地ノ警備ハ警察ニ於テ之ニ當ルコトトナレリ尤モ鴨綠江鐵橋右岸ノ警備ハ從來ノ通り同隊ニ於テ之ヲ行ヒ居レリ

7. 關東軍司令部ノ方針トシテ當地及營口ニ於テハ中國側ニ對シ積極的指導ヲ爲スコトトナリタル趣ニテ連山關獨立守備隊第四大隊長板津中佐ハ十四日來安シ當地治安維持委員會ニ對シ其ノ施政ノ實質ヲ改善スルト共ニ排日風潮ヲ斥除シ親日傾向ヲ助長スル様裏面ヨリ指導監督ヲ試ムルコトトナリ當地邦人有力者ヲ網羅シ軍部ニ對スル諮問機關ヲ組織シ其ノ事務所ヲ當地滿鐵地方事務所内ニ置ケリ尙軍部ノ方針トシテハ張學良並南京政府ノ政權ハ之ヲ排除シ治安維持委員會ニシテ新政權樹立ニ對スル過程ヲラシメシメ從ツテ從來ノ機關ハ實質ニ於テハ之ヲ存置スルモ一應ハ之ヲ廢止シ更ニ鑑テ治安維持ノ委員ヲシテ任命セシムルコトトスヘシトノコトナリ

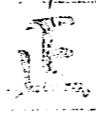
8. 鴨綠江鐵橋側中國海關監視所ノ移轉ニ關シテハ前報並往電所報ノ通ナル處目下向寒ノ折柄現狀天幕張ノ儘ニテハ職務執行困難ナルニ依リ其ノ改善方ニ關シ關係者間ニ於テ接洽中ナリ

ニ 中國側ノ狀況

1. 當地治安維持委員會ハ本月十日王縣長ヲ委員長トシ委員六名ヲ以テ愈正式ニ成立シ邦人金井佐次ヲ顧問トセルカ同會ハ治安ノ維持ヲ其ノ目的トシ政治的目的ノ存セサルコトハ委員等

外務省

9. 9 IMT 361 177 56 01753



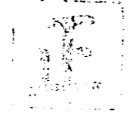
ノ言明シ居レル所ナルモ裏面ヨリ軍側カ指導監督シ居レルハ
 前項ノ通ナリ
 2. 楊秉衡カ商埠公安局長代理就任以來警ノ缺員ヲ補充シ部下
 ヲ督勵シテ極力治安ノ維持ニ當レル爲警ノ勤務狀況モ漸次
 良好トナリ市中大体ニ於テ平穩ヲ保持シ居レルモ唯同代理ニ
 對シテハ局内各課長ニ於テ悦服セス内部ノ不統一ヲ曝露セリ
 會々軍ニ抑留中ノ在鳳凰城遼寧歩兵第一團長姜全我少將カ大
 ノ親日家タルノ點ヨリ此際同人ヲ商埠公安局長ニ擔キ上ケン
 トスルノ運動起リ右運動ノ結果十六日同人ハ表面安東中國側
 有志ノ推舉ニ依リ軍部了解ノ下ニ愈々公安局長就任ノコトニ
 決定シ十八日楊局長代理ヨリ事務引繼ヲ受ケタリ尙楊代理局
 長ハ更メテ商埠、水上兩公安局ノ顧問ニ任セラレタルカ姜楊
 ノ間ハ極メテ圓滿ナリトノコトナリ
 3. 當地ノ狀況ハ大体極メテ靜穩ナルモ支那街ニ於テハ中支方面

外務省

IMT 361

179 58

0177



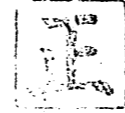
ノ對日宣戰等ノ記事並沙河鎮驛附近ニ於テ我軍カ塹壕作業ヲ
 爲セル等ノ事實ヲ綜合シ日支ハ開戦スルニ至ルヘントノ憶說
 傳ハリ又鳳城縣及寬甸縣方面ヨリ多數ノ馬賊變裝シテ當地へ
 入込ミ居リ本月末ヲ期シテ大掠奪ヲ行フヘントノ浮説モ傳ハ
 リ人心相當ニ恐怖シ居レリ
 4. 事件以來當地方ノ者ノミナラス他地方ノ者モ當地ヲ經由シテ
 郷里殊ニ山東方面へ避難スル者相當多ク軍側ニ於テモ中國側
 ニ於テモ治安維持ノ爲ニハ非常ナル努力ヲ拂ヒ居ル關係上中
 ニハ避難ヲ中止シ又ハ一度避難シタルモ再ヒ歸來セル者等ア
 ルモ時局小康ヲ得タル今日ニ於テモ未タ此ノ趨勢ヲ全然抑止
 スルコトヲ得ス爲ニ各工場等ニテハ職工等ノ歸國ノ爲相當困
 難ヲ感シ居レル模様ナリ
 5. 支那街ニ於ケル學校ハ事件以來殆ント休校シ中等學校以上ハ
 未タニ全部開校シ居ラス僅ニ丁抹人經營ノ三育中學校ノミ事

外務省

IMT 361

180 59

0178 6



件發生後久シク校業ヲ繼續シ居タルモ學生登校セサル爲終ニ
 休校ノ止ムヲ得サルニ至リ女子師範學校モ一度開校シタルモ
 再閉鎖セリ

6. 事件以來遼寧省政府ヨリ縣政府ヘノ送金杜絶シタルカ爲地方
 官憲ハ困惑シ居レル模様ナリシカ監獄ニテハ約四百人ノ囚人
 ヲ檻禁シ居レル關係モアルヲ以テ監獄經費ハ之ヲ地方經費ト
 シテ地方官金中ヨリ特ニ支辨スルコトトセルカ近ク法院ニ付
 テモ同様ニ取扱フヘントノコトナリ

三 邦人側ノ活動

4. 日鮮人ニシテ從來中國人ト權利ノ紛争ヲ生シ未解決ノモノ相
 當アル處彼等ハ今回ノ時局ニ際シ軍部ニ頼リテ之カ解決ヲ試
 ミントスル者相當多ク軍部ニ於テハ當初ハ斡旋シ居リタル模
 様ナリシモ此種請求續出スルニ至リ最近全部之ヲ取り合ハサ
 ルニ至リタル模様ナリ

外務省

IMT 361

181 60

0179

0180

2. 滿鐵地方事務所ハ支那街ニ對スル水道敷設計畫ニ付其ノ方法
 考究中ノ處不取敢軍部ノ要求ニ依リ縣公署迄敷設スルコトニ
 決シ既ニ工事ニ着手セリ

3. 從來中國側ニ於テ安東大孤山間ニ冬季ニ限り自動車運輸ヲ經
 營シ來リタルカ今般之ヲ日支合辦トシ城子疇迄延長スヘシ
 トノ議アリ

目下之カ計畫中ナリト云フ

4. 當地ニ於ケル乗用馬車ハ從來我方警察署若クハ中國側官憲ノ
 許可ヲ受ケタルモノハ相互ニ附屬地及中國街ヲ通行スルコト
 ヲ認メ來リタルカ支那側ノ取締不徹底ナル爲取締上面白カラ
 サル點アリ夙ニ其ノ改善方問題トナリ居リタルカ附屬地警察
 署側ニ在リテハ現下ノ情勢ニ顧ミ改善ノ好機會ナリトシ附屬
 地内ニ立入ルモノニ對シテハ特ニ其ノ許可ヲ受ケシムルコト
 トセリ又地方事務所側ニ在リテハ附屬地ニ出入スル營業者ニ

外務省

IMT 361

182 61





對シ雜種割ヲ賦課セントハ議アリト云フ
 5. 軍部カ當地中國電燈廠ヲ占領封鎖シタル爲其ノ後ノ電力供給
 ハ滿電ニ於テ臨時之ヲ行ヒ居レルカ滿電ニ於テハ尙中國側從
 來ノ電燈需要者ヲ戶別訪問シ將來ニ於ケル電力供給ニ付テ勸
 誘シツツアリ一方中國側電燈廠長ハ其ノ前途ニ見切ヲツケ殘
 務ヲ整理シ辭スヘント云ヒ尙米商慎昌洋行ヨリ購入ノ機械器
 具ノ代金ハ支拂不可能ナル旨該洋行へ通知スヘント稱シ居レ
 リト傳ヘラル
 6. 鮮人ノ保護ニ付テハ當地警察署ニ於テモ力ノ及フ限りニ於テ
 ハ意ヲ用ヒ安東縣及鳳城縣等ニ於テハ中國側トノ連絡容易ナ
 ルカ爲特ニ中國側ニ依頼スル所アリ又警察官ヲシテ遠隔地ノ
 駐在所ヲ~~兼~~巡回歴訪セシメ特ニ注意セシメツツアル趣ニテ目下
 ノ處敗殘逃亡兵等ノ爲少數ノ例外ヲ除キ多數ノ被害ナキモノ
 ノ如ク避難者モ比較的少ナシ

外務省

9.12

IMT 361

183 62

0181

乙、地方ノ狀況

一 沿線地方ハ概シテ平穩ナリ右地方ノ中國軍隊ハ武装解除ヲ恐レ
 多クハ奥地へ姿ヲ晦セリ
 二 (1) 安東縣下第三區右營村地方ニ於テ最近數名ノ逃亡兵徘徊シ各
 所ニ於テ多額ノ金品ヲ強要シツツアル爲人民ハ非常ニ脅カサ
 レ居レリ
 (2) 縣下大東溝尖山^峯及莊河縣龍王廟ニハ鳳凰城第一團長姜全我
 ノ部下約四百名駐屯シ治安ニ關係アルヲ以テ守備隊ニ於テ之
 ヲ遠隔地へ移動セシムヘク取計ヒタル結果同部隊ハ通化縣北
 山城子方面へ移動シタリ
 三 (1) 鳳凰城地方治安維持會ハ治安維持ニ努力ノ結果相當ノ效果ヲ
 舉ケツツアル模様ニシテ城内平穩ナルモ最近日支開戦ノ流言
 盛ニ行ハレ人民ハ非常ニ不安ニ驅ラレ各方面へ避難スル者續
 出スル狀況ナリ依ツテ警察ハ守備隊ト協力シ公安局長^丞治安

外務省

9.12

IMT 361

184-63

0182



輯安縣ニ於テハ日支開戦ノ流言盛ニ行ハレ人心動搖シ居レリ
 七日東邊鎮守使于芷山ヨリ縣長ニ對シ目下ノ時局ニ鑑ミ同縣駐
 屯兵ノ出動ヲ命スルコトアルヤモ計リ難キニ付右軍隊ニ代リ警
 備ニ當ルヘキ自衛團ヲ組織スヘシトノ命令ニ接シ縣長ハ自衛團
 組織ヲ準備シツツアリ
 六 寬甸縣ニ於テハ鮮人襲來スヘシトノ流言行ハレ政府ハ鄉團兵約
 二百名ヲ召集シ嚴重警戒シ居レリ
 縣政府ハ時局ニ關スル萬一ヲ慮リ同縣各地方駐屯兵約六百名ヲ
 集合シ三百名ハ縣内ノ警戒ニ當ラシメ三百名ハ通化方面ニ向ハ
 シメタルカ其ノ中縣下小蒲石河駐屯遼寧省步兵第一團ニ屬スル
 少部隊ハ七日原駐地ヘ歸還シタリトノ報ヲ得タリ東邊鎮守使于
 芷山ハ寬甸縣駐屯第一團附陸軍中佐唐聚五ニ對シ今次事件ノ爲
 各地ニ散在セル逃亡兵ヲ糾合シ新一團ヲ組織スヘク命令シ唐
 ハ右編成準備中ナリト報セラル

外務省

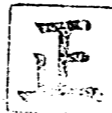
9.12

IMT 361

-186 65

0184

12



維持會ニ嚴達シ流言ノ出所タル中國新聞ヲ取締ルト共ニ郵便
 ノ檢閲ヲモ開始セリ
 (2) 鳳城公安隊長徐文海ハ部下ヲ率ヒ各所ニ出沒シ敵對行動ニ
 出テ十二日通遠堡林家台間ニ於テ鐵道線路ヲ破壞セントシタ
 ルモ果サス纒ニ軍用電線二本ヲ切斷シタルカ治安維持會ニ於
 テ切ニ勸告スル所アリ解散費七百元ヲ得解散スルコトナリ
 タリ
 (3) 鳳城縣第一團所屬部隊約二百名縣下ヲ移動シ金錢ノ強制借用
 等ヲ行ヒ居レルカ縣下第三區黃土坎居住邦人方ヘモ強盜押入
 リタリトノコトナリ
 四 莊河縣下紅旗溝(大孤山ノ東方六邦里)ニ於テハ鳳城縣第三區
 ノ各地ニ駐屯中ナリシ陸軍補充團第三營所屬兵約三百名集結シ
 部落民ニ對シ多額ノ金品ヲ強要シ若シ應セサレハ掠奪行爲ニ出
 ツヘシト脅迫セル爲部民ハ戰々恟々トシテ協議中ナリト云フ

外務省

9.12

IMT 361

185 64

0183

18 - 2 - 34

第 號

關東軍參謀長ヨリ參謀次長宛

電信關第八七五號(其一、二)(秘)

昭和六年十月廿八日後發
同 六年十月廿八日後著

鄭家屯通遼附近ノ馬賊ハ天下芳、中山芳、蓋三省ヲ頭目トスル約
千名ニシテ通遼錢家店附近ヲ根據トシ通遼3KBト連絡アルハ確實ニ
シテ過般錢家店附近ニテ鐵道ヲ破壞シ我カ裝甲列車ヲ脱線セシメ
且之ヲ襲撃セルハ3KBノ一部及其賊ナリ又鄭家屯西北方、茂林、三
林、衙門台、驛ヲ襲撃タル匪賊百モ3KB之ヲ操縦シアルカ如シ、
之等敵操縦ノ疑アル賊團約千名二十八日午前一時鄭家屯東方一
樹附近ニ現出セルヲ以テ鄭家屯支隊ヨリ大隊長ノ指揮スル步兵二
中隊ヲ討伐ニ派遣セシメタルカ右討伐隊ハ敵ヲ攻撃ノ爲メ一
北方高地ニ向ヒ前進中其背後ヨリ約百名ノ敵ニ襲ハレ不期戰ヲ起

外務省

C. 0186

IMT 361

188 67

18 - 2 - 33

第 號

關東軍參謀長ヨリ陸軍次官宛

電信關電八八三號(秘)

昭和六年十月廿八日後發
同 六年十月廿八 日後著

鄭家屯東北一稜樹北方ノ匪賊ハ討伐隊主力(三江口ニテ下車)ノ到
著ニ先チ何レニカ退却セト同隊主力ハ午後三江口ニテ乘車鄭家屯ニ
歸還ス一稜樹ニ下車シ賊ト不期戰ヲ交ヘタル栗原中隊ハ主力ヨリ稍
々遅レテ一稜樹ニテ乘車鄭家屯ニ歸ル筈

外務省

0185

IMT 361

187 66



18 - 2 - 35

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十月卅一日後發

同 六年十一月一日前着

電信第一一五五號(暗)

往電第一一〇六號ニ關シ

三十日兵ノ配置替アリタル處

一 城内ニ於テハ滿鐵公所二十四名鮮銀支店十四名ノ外官銀號、司令

長官公署及城門ニ四名宛ヲ配置シ合計七十八名ナリ

二 商埠地ニテハ要人公館ニ合計二十二、三名ヲ配置ス

三 特別區タル工業區ニハ迫撃砲廠ニ約二百五十名宿泊スル外北寧鐵

路倉庫、瀋陽驛及紡紗廠ニ各七、八名宛ヲ配置ス

四 城外ニ於テハ兵工廠ノ分廠三ヶ所兵工廠附屬彈藥庫、無電台、電

燈分所、被服廠、糧秣廠等ニ百六七十名分散シ居レリ

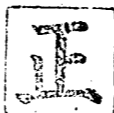
外 務 省

9.12

IMT 361

190 69

0188



シ栗原大尉腹部ニ貫通銃創ヲ受ケ兵二名戰死シ三名負傷ス之カ爲
鄭家屯ヨリ一中隊増援ス
北平、天津、朝鮮、上海、哈市、スミ

外 務 省

9.9

IMT 361

189 68

0187

18 - 2 - 36

第 號

在天津桑島總領事ヨリ幣原外務大臣宛

天津 昭和六年十一月一日後發

同 六年十一月二日前着

電信第四五八號 (別電)(略)

往電第四五七號ニ關シ

自治法案左ノ通

一 東三省人民ハ地方自治實行ノ爲省民聯合大會ヲ組織ス

ニ 大會ハ嘗テ國會若ハ省議會議員タリシ省民及各法團代表各界知識

分子ニ於テ發起組織ス

三 大會ニ於テ若干人ヲ推薦シ東三省地方自治委員會ヲ組織シ共和政

府回復セラルル迄地方政府ノ職權ヲ代行ス

四 本地方自治政府ハ一黨專制ノ南京政府ヲ脫離シ五族共和民國政府

ヲ回復シ首領ヲ推獎シ憲法ヲ速成スルヲ以テ趣旨トス

外務省

9.12

IMT 361

192 71

0190

正

要スルニ宿舍ノ關係上迫撃砲廠ニ二百五十名宿泊スル外ハ總テ兵
工廠、被服廠等ノ要所若ハ警備上必要地點ニ少數ノ兵ヲ配置シ居ル
ニ止マリ前記(一)乃至(四)以外ノ總兵力ハ全部城外ノ兵工廠並附屬地内
滿鐵舊病舎ニ駐在シ居ル次第ナリ
尙前記兵數ハ警備ノ關係上一般ニ公表セラレサル様御注意ヲ請フ
公使、聯盟、米へ轉電セリ

外務省

9.12

IMT 361

191 70

0189

18 - 2 - 37

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十一月二日後發

同 六年十一月二日後着

電信第一一七一號 (暗)

本官發長春、鐵嶺、遼陽、鄭家屯、牛莊、安東、新民府、海龍、通化、拘鹿宛電報合第八三〇號

事變後遼寧省ノ中央機關トシテハ事實上袁金鎧ヲ委員長トスル地方維持委員會中心トナリ我方トシテモ之ヲ盛り立ツルノ方針ニテ進ミ居ル次第ノ處他方闕朝璽一派ハ四民維持會ノ組織等ニ依リ袁金鎧ニ對抗シ勢力ヲ築キ上ケントノ傾アリ邦人浪人中ニモ闕ノ爲策動スルモノ少カラス鐵嶺撫順等ニ於ケル自治委員會ノ組織ハ右策動ノ反映トモ認メラルル次第ナルカ最近闕ヲ局長トシテ各地ニ清郷局ヲ設クルノ計畫進行中ナリシ爲軍側ニ於テハ右ハ何等軍側ノ關與シ居ル所

外務省

0.12

IMT 361

19473

0192

左記事項ヲ以テ主要政策トス
(一)秩序回復 (二)民生安定 (三)官紀ノ肅正 (四)禮教提唱 (五)經濟ノ開發 (六)財政公開 (七)金融整理 (八)苛員ノ雜稅排除
六 自治省ハ共和政府成立シシ地方長官任命ヲ待チテ即時取消ス

外務省

0.12

IMT 361

193 72

0191



18 - 2 - 38

第 號

在鐵嶺石塚領事代理ヨリ幣原外務大臣宛

鐵嶺 昭和六年十一月二日附
同 六年十一月九日

公信第五八一號

最近ニ於ケル開原縣中國官民ノ對日態度ニ關スル件
 開原縣下中國官民ハ一時時局ヲ重大視シ自治分會組織セルトキノ如
 キ一面識ナキ邦人等ノ指導勸告ニ從ヒ進ンテ同會ノ組織進行ニ努力
 シ官民ヲ通シテ苟モ日本官民ニ反對スヘキ言動ヲ爲スモノナク追從
 ヲ事トシ居リタル處昨今ニ至リ開原縣城内官民間ニハ日本ハ滿蒙侵
 略ヲ目的トシテ出兵シ今日ノ狀態ヲ釀成セルモ國際聯盟ハ十一月十
 六日迄理事會ヲ停止シ日本ノ撤兵ヲ促シ日本ノ行動ニハ積極的干涉
 ニ出ツルコトトナリタルヲ以テ日本モ聯盟國及米國等列國ノ干涉ニ
 ハ如何トモ爲ス能ハス十六日迄ニ撤兵スルノ止ムナキニ至レリ從テ

外務省

IMT 361

196

75

(0194



ニアラサルト共ニ縣自治委員會所屬ノ公安局以外ニ此種武裝團隊ヲ
 設クルハ治安維持上弊害アリトノ見地ニ基キ清郷局ノ組織ヲ阻止ス
 ルニ決定シ十月三十一日右軍ノ意向ヲ新聞ニ發表セリ
 大臣、亥へ轉電セリ

外務省

IMT 361

195

74

(0193

18 - 2 - 39

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十一月四日後發

同 六年十一月四日後着

電信第一一八九號 (暗)

當地方一般狀況ハ官銀號及邊業銀行ノ開業瀋海鐵道ノ開通及警察力ノ充實ニ依リ著シク改善セラレ (一)官銀邊業兩銀號ノ紙幣ハ現銀ト殆ト平價ヲ維持シ四十餘ノ支店トノ爲替業務ヲ開始スルト共ニ瀋海鐵道ノ開通ニ依リ特產物ノ出廻リモ促進セラレツアリ市場モ大イニ落着キヲ示シ當地ニハ滿鐵及瀋海沿線ヨリ商品註文頻々行ハルルニ至リシモ其額ハ例年ノ一割内外ニ過キス (二)當地支那市街ハ破産又ハ整理中ノモノ等約一割内外カ未タ開店セサルノミ市場ハ平穩ニ歸シタルモ市民殊ニ官吏軍人其他富豪ノ他ニ避難セル者多數ニ上ル爲購買力著シク減少シ市内ノ取引モ殆ト日用必需品ニ限ラルル爲當地方

外務省

0.12

IMT 361

198

77

(0196

遼寧省政府及各縣政府機關ノ恢復モ遠カラサルヘグ兩日來東三省官銀號及邊業銀行發行ノ現大洋票相場昂騰ノ如キモ近ク東北機關ノ恢復ヲ物語ルモノナリトノ說傳ヘラレ居レリ

右ニ關聯シ開原縣自治分會各委員ノ中ニモ右風說ヲ信シ三十一日開會ノ同委員會ニ於テモ缺席者多ク出席委員モ一般ニ積極的ニ事務ニ當ル者ナク又同會ノ護衛兵ノ如キモ日本人顧問出入ニ際シ從來捧銃ノ禮ヲ以テ送迎シ居リシ態度ヲ一變シ却テ反感ヲ示ス狀態ナリ

尙附屬地内華商間ニモ内心前說ヲ信シ之カ實現ヲ希望シ居ルモノアルヤニ認メラルルモ目下表面的ニハ何等變化ナシ

右何等御參考迄報告ス

本信寫送附先 在中華公使、在北平主席、奉天總領事、長春、

安東、各領事

外務省

0.12

IMT 361

197 76

(0195

第 號

在上海村井總領事ヨリ幣原外務大臣宛

上海 昭和六年十一月四日後發

同 六年十一月四日後着

電信第七六八號(略)

三日「イヴニング、ポスト」ハ精密ナル調査ニ依レハ滿洲ニ於テ今日迄ニ日本軍ノ爲ニ占領セラレ若クハ強制的ニ制度ヲ改變セラレタル地方ハ奉天省内二十箇所(奉天、昌圖、懷德、梨樹、開原、鐵嶺、遼陽、牛莊、海城、蓋平、營口、通遼、開通、鄭家屯、洮南、本溪湖、撫順、安東、新民府、態岳城)吉林省内七箇所(吉林、敦化、額穆、長春、延吉、汪清、龍井村)ナリトノ二日北平發國民通信ヲ掲載シ居レリ

公使へ轉報シ北平、奉天、吉林、南京へ轉電セリ

外 務 省

9.9

IMT 361

200 79

0198

ノ貿易商ハ實力上殆ト休業同様ノ姿ニシテ小賣雜貨ノ如キモ例年ノ一割乃至二割ヲ出テスト謂フ

支、北平、南京、天津、哈爾濱、吉林へ轉電セリ

外 務 省

9.9

IMT 361

199 78

0197

正

881

18 - 2 - 42

第 號

朝鮮軍參謀長ヨリ參謀次長宛

電信朝參報第三〇六號

籌備處長張書翰ハ邢延吉縣長ニ事務ヲ引繼キ本二日出發セリ途中吉林ニ立寄ルモ哈市ニ落付クト稱シ居リタリ

昭和六年十一月二日後發
同 六年十一月三日前着

外務省

IMT 361

202 81

0200

正

881

18 - 2 - 41

第 號

在遼陽山崎領事代理ヨリ幣原外務大臣宛

遼陽 昭和六年十一月四日後發

同 六年十一月四日後着

電信第四三號(暗)

貴電合第七七七號(三)ニ關シ

拙電第三八號報告ノ佐々木中隊ハ客月二十六日着遼以來附屬地内ノ
ミノ警備ニ就キ居リタル處十一月二日以來下士卒十名ヲ以テ巡察隊
ヲ組織シ毎日一回遼陽城内ノ巡邏ヲ開始セリ
支、北平、南京、奉天、哈爾濱、吉林、長春、安東、鐵嶺、牛莊ニ
暗送セリ

外務省

IMT 361

201 80

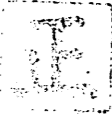
0199

REEL No. A-0193

アジア歴史資料センター

881

(別紙)



在拘鹿齋藤偵事館分館事務取扱ヨリ開原憲兵分遣隊長宛
 拘鹿 昭和六年十一月五日附
 公信機密諸方第一〇九號
 西豊縣内治安狀況ニ關スル件

外務省

9.12

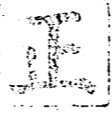
INT 361

204 83

0202

881

18 - 2 - 43



第 號

在拘鹿齋藤偵事館分館事務取扱ヨリ幣原外務大臣宛

拘鹿 昭和六年十一月五日附
同 六年十一月十二日着

公信機密第二〇三號

西豊縣内治安狀況ニ關スル件

昭和六年十一月五日附開原憲兵分遣隊長宛機密諸方第一〇九號公信
寫送付

件名

別紙添付

外務省

9.12

INT 361

203 82

C 0201

REEL No. A-0193

アジア歴史資料センター

一 拘鹿市街日常警備力
 拘鹿市街日常警備力ハ軍隊百五十名公安隊百二十名警察巡警百五
 計約三百七十五名ニテ商會組織ノ自警團ハ單ニ夜警ニ過ス
 一 拘鹿市街現在ノ狀況
 北山城子鎮守使カ東邊保安司令ニ就任以來守備軍隊ハ勿論公安隊及
 巡警等モ落付キ一般商民モ亦安堵ノ色ヲ見市内平靜ニテ昨今ハ穀類
 ノ出廻リ期ニテ問屋節ハ何レモ^般盛ナリ。
 一 馬賊狀況
 拘鹿市街及附近邦里五六里以内及拘鹿開原間鐵道沿線地方ハ比較的
 安全ナルモ吉林省伊通縣境及奉天省清源縣境等ノ奥地方ハ例年通り
 匪賊徘徊スルモノノ如ク支那人側ノ被害ハ不明ナルモ最近ニ於ケル
 朝鮮人ノ被害ハ牛一頭及驢馬一頭ナリ。
 一 敗殘兵ノ有無
 守備團長及公安局長ノ調査ニ依レハ西豐縣ニハ現在ノ處敗殘兵ノ入

外務省

9.12

IMT 361

206 85

0204

十一月四日午後電話御照會ニ係ル西豐縣内現在治安狀況左ノ通り回
 答申進ス。
 記
 一 西豐縣守備軍隊
 西豐縣拘鹿守備軍隊ハ北山城子鎮守使（現在ハ東邊保安司令ト改稱
 ス）配下ニ屬スル騎兵第一團ノ^ニ連約百五十名ニテ團長曹秉森ハ日
 本土官學校出身ノ親日家ナリ
 一 警察公安隊
 警察巡警百四十名公安隊五百六十名縣内ヲ九區ニ分チ各區ニ公安分
 局ヲ置キ各分局ニ公安隊五十名乃至六十名ヲ配置シ相互連絡ヲ保チ
 匪賊ノ警戒ニ從事ス。
 一 拘鹿市街自警團
 拘鹿商務總會ニ於テ組織ニ係ル市内各商家ヨリ義務的ニ集合シテ夜
 警ニ從事スル自警團約四十名アリ

外務省

9.12

IMT 361

205 84

0203

正

881

モ政治上ニハ連絡ノ模様ナク殊ニ北山城子鎮守使カ東邊保安司令ニ
就任以來縣長ノ立場モ氣樂ニナリタル觀アリ。

本信寫送付先 外務大臣 奉天總領事 鐵嶺領事

以上

外務省

0.12

IMT 361

208 87

0206

正

881

込ミタル者ナキ模様ナリ
西豐縣政府ノ狀況
事變以來西豐縣ハ敗殘兵ノ侵入ヲ防キタル爲直接損害ナク從テ縣政
府モ日常ト異ナラサルモ遼寧省政府ノ消滅ニ依リ省政府直屬ノ軍隊
及官吏ノ俸給不渡リトナリ一般商民ハ省政府ノ所在判明セサルヲ事
由トシテ納稅ヲ肯セス一方東邊保安司令ヨリ所在軍隊ハ各縣ノ負擔
費ニテ維持方命令スル等財政上大困難ヲ來シ居ル模様ニテ農商工、
教育、水利、稅捐等ノ各頭株ハ連日ノ如ク縣政府ニ集リ協議シ居ル
模様ナリ
西豐縣政府ト錦州假政府トノ公信往復
省直屬ノ官吏ハ十月以來俸給不渡トナリ軍隊モ亦諸給與不渡トナリ
一般商民ハ地方稅以外ノ稅ヲ納付セス之カ爲縣長ハ四方八方カラ責
メラレ自^己言分及部下ニ對スル申譯並ニ假政府ヨリノ命令ニ對シ
テ事變以來財政上ニ關スルヲトニ付テ公信ヲ往復シタルモノノ如キ

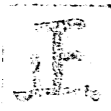
外務省

0.12

IMT 361

207 86

0205



二名ヲ逮捕シ直ニ自働車ニテ錦州ニ押送セルモノノ如シ
 (二)同軍カ馬賊ノ奇襲ニ依リ壊滅セリトノ説並ニ奉天富士町本郷柳次郎ニ係ル風説ハ事實ト相違スルカ如シ
 公使ヨリ上海、南京ニ轉報アリ度シ
 北平ヨリ天津、濟南、青島ニ轉電アリ度シ
 公使、北平、奉天ニ轉電シ、牛莊、鐵嶺、長春、安東、哈爾濱、吉林、間島ニ暗送セリ

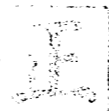
外務省

0.12

IMT 361

210⁸⁹

0208



✓18-2-44

第 號

在遼陽山崎領事代理ヨリ幣原外務大臣宛

遼陽 昭和六年十一月六日後發
同 六年十一月六日後着

電信第四六號(暗)
往電第四二號ニ關シ

東北民衆自衛軍壊滅善後策考究ノ目的ヲ以テ奉天葵町居住豫備步兵大尉平佐二郎、篠原節、篠原陽三及大連能登町一六増井信次郎四名ハ支那人楊貴清、陳豐武ノ兩名ト共ニ四日夜湯崗子對翠閣ニ投宿協議ヲ遂ケタル由ナルカ平佐大尉ハ鞍山驛通過ノ際奉天三谷憲兵分隊長ニ對シ四日朝入手セル錦州方面ヨリ得タル左記~~旨~~旨ノ情報傳達方ヲ同驛警備中ノ憲兵隊員ニ依頼セル趣ナリ
 凌印清ノ部下ニハ最初ヨリ張學良腹心ノ者數十名潛入シ居リ三道溝子宿營中三十一日未明突如睡眠中ノ凌總司令及王參謀長ノ外日本人

外務省

0.12

IMT 361

209⁸⁸

0207

正

881

別紙

第 號

在通化興津副領事ヨリ在奉天林總領事宛

通化 昭和六年十一月九日附

公信機密公領第二四五號

敗竄兵永陵街侵入當時ノ狀況ニ關スル件

張學良ノ衛隊旅紀團長ハ其ノ部下及王以哲ノ部下合計八百五十三名ノ敗竄兵ヲ率ヒ十月七日新賓縣永陵街ニ侵入シ更ニ新賓縣城ヘ侵入セントセシモ新賓縣長ノ交渉ニ依リ衣服等ヲ整ヘ同月十八日同地方ノ電線ヲ切斷シ行衛ヲ晦マシ二十二、三日頃鐵嶺南方亂石山方面ノ滿鐵線ヲ橫斷セントシテ日支軍ノ衝突ヲ起シタルコト已報ノ通りナリシ處當時ノ狀況ニ關シ新賓派遣所ノ調査報告ニ依レハ衣新賓縣長ハ該敗竄兵ノ新賓ヘノ侵入阻止ノ爲メ張公安局長ヲ永陵街ニ派遣シ紀團長ニ面會交渉セシメタルモ纏マラス同月十四日紀團長ハ張公安

外務省

9.12

IMT 361

212 91

0210

881

18 - 2 - 46

第 號

在通化興津副領事ヨリ幣原外務大臣宛

通化 昭和六年十一月九日附

同 六年十一月十八日着

(別紙添付)

は(イ)

公信機密公領第二四八號

昭和六年十一月九日附奉天總領事宛機密公領第二四五號寫送付

件 名

敗竄兵永陵街侵入當時ノ狀況ニ關スル件

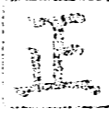
外務省

9.12

IMT 361

211 90

0209



局長ト共ニ新賓ニ來リ衣縣長農商工會長等ノ各機關ト接衝ノ結果商務會等ハ其食費一日分現大洋五百元防寒服防寒靴代ニ要スル費用現大洋一萬元ノ提供ニテ侵入阻止ノ協定成立シタル由ナルカ該敗竄兵ハ服裝等ノ出來上リタル十八日電信電話線等ヲ切斷シテ移動ヲ開シ亂石山方面ニ向ヒタル模様ナリ而シテ同地趙分局長ノ談ニ依レハ紀團長ハ亂石山方面ノ滿鐵線橫斷ノ際鎧ニ足ヲ入込ミタル儘落馬シ引摺ラレテ遂ニ死亡スルニ至レリトノコトナリ

右御參考迄此段報告申進ス

本信寫送附先 外務大臣、吉林、間島、安東、鐵嶺、海龍各館長
朝鮮總督府、關東廳各警務局長、北平知事

外務省

IMT 361

213

92

0211



18 - 2 - 47

第 號

在鐵嶺石塚領事代理ヨリ幣原外務大臣宛

鐵嶺 昭和六年十一月九日附

同 六年十一月十四日着

公信第六一二號

昌圖縣ニ於ケル匪賊狀況ニ關スル件

昌圖縣公安局長鄭馨ノ洩ス所ニ依レハ曩ニ昌圖縣治安維持會ニ於テ懷柔歸順セシメタル匪賊頭目三省ノ一團約一千五百名ハ十一月五日午前十一時頃同縣兩家子(通江口北方約二邦里)附近ニ於テ頭目天樂ノ一團ト交戦シ之ニ相當ノ損害ヲ與ヘ撃退セシメタル天樂ノ敗走匪賊ハ開原縣双樓臺附近ニ逃竄シタル模様ナルヲ以テ三省ハ同地(昌圖縣兩家子)ニ一部ヲ止メ主力ハ昌圖縣北方地域ニ引返シ群少匪賊團ヲ掃蕩スル目的ヲ以テ十一月七日早朝來行動ヲ開始シツツアリ過般通江口ヲ包圍セル匪賊ノ一部蒙匪約四百名ハ十一月初メ頃ヨリ

外務省

IMT 361

214

93

0212

18 - 2 - 48

第 號

在長春田代領事ヨリ幣原外務大臣宛

長春 昭和六年十一月九日附

同 六年十一月十七日着

公信機密第五三五號

附屬地襲撃ヲ計畫スル匪賊團動靜ニ關スル件

事變以來敗走兵ヲ混入セル匪賊團ノ計畫的都邑襲撃各地ニ於テ頻々ト行ハレ當館管内ノ如キモ既報ノ通り九月下旬公主嶺支那街本月四日ノ伊通縣城襲撃事件アリ今又懷德縣城賊團ニ蹂躪セラレタル如ク傳ヘラルルモ通信杜絶ノ爲情況不明ナル處殊ニ最近邦軍駐留部隊ノ大部分カ江橋方面ニ出動シ附屬地警備甚シク手薄トナリ居ルニ乘シ陶家屯、范家屯、公主嶺、長春等我附屬地襲撃ノ風説旺ナルニ願ミ各警察署ニ於テハ軍部ト密接ナル連繫ヲ保テ嚴重警戒シ萬一ニ備フルト共ニ極力賊團ノ動靜探查中ナルカ主ナル賊團ノ狀況左記ノ通

外務省

9.9

IMT 361

216

95

0214

昌圖縣金家屯ニ出現セルカ十一月四日天樂一味ノ副頭目格ト同地ニ於テ會合シ三省ノ一團ニ對スル將來ノ對策並昌圖開原兩附屬地襲撃計畫等ヲ打合タル模様アリ彼等賊團ハ先ツ馬仲河金溝子等ノ如キ中間小驛ヲ二三百名ヲ以テ襲撃シ昌圖並開原ノ警備力ヲ之ニ集中セシメタル後主力ヲ以テ兩地ヲ襲撃セハ成巧疑ナシト稱シツツアル趣キナリ

右御參考迄報告ス

本信寫送付先 奉天總領事、長春、安東、遼陽、牛莊、鄭家屯、各領事、掏鹿分館事務取扱

外務省

9.12

IMT 361

215

94

0213



本信寫送付先 在華公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱、鐵嶺、
鄭家屯、安東、遼陽、牛莊、農安、

外務省

0.12

IMT 361 7

218 97

0216



リナリ
記
本月五、六日頃懷德縣黑林子附近ヲ横行シ居タル敗走兵ヲ含ム賊團
ハ漸次増大シ七日ニ至リ頭目占山、好飛龍、同樂等ヲ合體二百五
餘名ニ達シ大黒林子北方唐家窩堡ニ占據シ范家屯、陶家屯附屬地ヲ
襲撃スヘク頻ニ劃策シ居リ范家屯北方約三十支里ノ大嶺附近ニ八九
占、白狼等ヲ頭目トスル約七百名ノ賊團アリ之モ附屬地襲撃ヲ計畫
シ居ルヤニ傳ヘラレ又右賊團トノ關係不明ナルモ七日范家屯北方新
開合河附近ニ約三百名ノ集團現ハレ同日午后范家屯北方十五支里ノ
五家子ニモ略同數ノ匪賊出現支那官兵ト交戦シ公主嶺東方約二邦里
ノ十三家子ニモ七日來系統不明ノ匪賊團約一千名集結シ附屬地襲撃
ヲ企テ居ルヤニ傳ヘラレ此等賊團ノ赴ク處掠奪放火行ハレ黒林子附
近ヨリハ七日約九十名ノ避難民范家屯ニ來着セル趣ナリ
右報告申進ス

外務省

9.9

IMT 361

217 96

0215

第 號

在奉天林總領事ヨリ幣原外務大臣宛

奉天 昭和六年十一月 十日 後發
同 六年十一月十一日 前着

電信第一二四六號(暗)

新民府發本官宛電報

第二九號(極秘)(七日前)

往電第二六號ニ關シ

一、新民縣長ハ引續キ當地方ノ治安維持ニ付馬賊ノ討伐及懷柔ノ兩手
段ヲ講スルト共ニ各村落ニ對シ自衛團ノ組織ヲ獎勵シ相當ノ效果
ヲ收メツツアリ
然ルニ最近當地方ニ浪人ラシキ日本人ノ出沒鮮カラス且軍部ニ於
テモ軍略上其他ノ必要ヨリ當地方ヲ其統制下ニ置カントスル野心ア
ルモノノ如ク又往電第二二號並ニ往電第二五號ノ關係ニテ張學良

外務省

0.12

IMT 361

219 98

0217

派一掃等ヲ目論ミ何等カ秘密ニ裏面策動ヲナシツツアリト察セラ
ルル節アリ果シテ斯ル畫策ヲ實行スルヤ否ヤ不明ナルモ實現ノ曉
ハ當地方中心トシテ一紛争免レ難シト懸念セララルル次第ナリ
ニ奉天事變發生後當地支那側ハ事實上自治的活動ヲ爲シ來レルモノ
ニテ縣長ハ地方官トシテノ職責上專ラ保境安民ノ實ヲ舉クル事ヲ
當面ノ問題トシ努力シツツアルモ唯縣長ハ日本浪人並ニ軍部ノ秘
密策動ニ付不安ヲ感シ居リ現ニ北寧線白旗堡方面ノ馬賊中ニハ日
本軍部ノ諒解アリトノ宣傳ヲ爲シ居ル部隊アリトノ趣ナル處他方
過般來奉天方面ヨリハ袁金鎧ノ地方維持委員會並ニ鐵嶺領事發外
務大臣宛公信第五九號ノ闕朝璽派西北路清鄉局等ヨリ令達ニ接
シツツアルモ縣長ハ明白ニ服從ノ意思^無キ旨表示シ居ルニ反シ錦
州政府筋ヨリノ命令ニ付テハ現在ノ立場上服從ノ外無シト本心ヲ
洩ラシ居ル次第ニシテ現在ノ處當地縣長ハ奉天方面指導者ノ統制
ニ服スル意思無キ模様ナリ

外務省

0.12

IMT 361

220 99

0218



881

18 - 2 - 50

第 號

在新民府土屋分館主任ヨリ幣原外務大臣宛

新民府 昭和六年十一月十日附

同 六年十一月十七日着

公信機密第一七〇號

新民縣市街ノ警備狀況ニ關シ報告ノ件

今回ノ事變發生以來當地中國側ハ治安維持ニ付多大ノ努力ヲ拂ヒツ
 ツアル狀況ニ關シテハ既ニ電報ヲ以テ報告申進置キタル通りナル處
 現在迄ノ成績ハ頗ル良好ニシテ當地ハ明カニ新民縣唯一ノ安全地帯
 タルノ觀アリ現ニ小泥棒ノ事故スラ^{報告}ヲ沒シ此ノ點ハ寧ロ事變前ニ
 比シ平穩ナリ從テ田舎村落カ匪賊横行シ掠奪、放火、婦女凌辱等暴
 虐ヲ逞シタル關係上當街ニ避難シ來レル地方人ハ極メテ多數ニシテ
 中國側ノ調査ニ依レハ無慮三萬ト稱セラレ事實市中ハ避難民ヲ以テ
 充満シ居ル現狀ナリ

外務省

9.9

IMT 361

222101

(0220



881

要スルニ現在ノ時局ニ際シ當地縣長ハ地理的關係上日支兩勢力ノ
 中間ニ在シ頗ル微妙ナル立場ニアリ治安維持ノ重責ヲ負ヒ一面
 何時日本軍側ノ策動ニ依リ追立テテ喰フヤモ計リ難シト鮮カラス
 惱ミ居ル模様ナリ
 大臣へ轉電アリタシ
 支、北平、南京、天津、鐵嶺へ暗送セリ

外務省

9.12

IMT 361

221 100

0219



而シテ中國側ハ縣下各地カ集團的馬賊乃至蒙匪ノ襲撃アルニ顧ミ當
 地ノ警備ニ全力ヲ注キ市中ノ所要所ニハ土囊ヲ積ミ柵ヲ設ケ市街
 ノ外廓ニハ應急的土壁ヲ築造シ警戒員ハ晝夜之ヲ監視スルノミナラ
 ス新民縣長其他警備指揮者ハ不眠不休ノ状態ニテ部下ヲ督勵シツツ
 アリ事變發生後既ニ五十日ヲ經過相當疲勞モ感シ居ル模様ナルモ商
 民ノ信賴ニ對シ弛^レ迄此ノ状態ヲ維持スヘシトテ其ノ意氣盛ナル次第
 ナル處目下當街ニ於ケル警備力ハ左記ノ通ニシテ合計五百七十名ナ
 リ

- 一 縣公安局 八十名 (步隊)
- 二 公安隊 二百二十名 (馬隊)
- 三 遼河水上警察 一百四十名 (步隊)
- 四 保安隊 一百三十名 (步隊商務會雇入)

而シテ當地ノ治安状態前述ノ通りナルヲ以テ縣長ハ逐次地方村落ノ
 治安維持ニ着手シ目下各部落ニ對シ自警團ノ組織ヲ獎勵スル一面公

外務省

9.12

IMT 361

223102

0221



安隊ヲ派遣シ馬賊ノ討伐並ニ其ノ懷柔等ノ手段ヲ講シ相當ノ效果ヲ
 收メツツアリ

尙當館ニ於テモ約七十名ノ在留本邦人ノ生命財產保護ノ必要上事變
 發生ト共ニ中心ヲ失ヒタル過渡的時代ニ際シ地方的善處ノ要ヲ認メ
 中國側トノ聯絡並理解ヲ怠ラス全然軍事及政治的^湯卷外ニ立チ只管
 當地中日商民ノ生命財產ノ保全福利ニ立脚シ絶ヘス協調的行動ヲ執
 リ來リ先ツ雙方自國商民ノ動搖防止ニ協力スルト共ニ更ラニ巨流河
 ニ於ケル日本軍トノ間ノ融洽聯絡ニモ注意ヲ拂ヒ我軍モ好意的ニ當
 地ノ治安維持ニ援助ヲ與フルノ了解アリタルヲ以テ中國側ニ於テモ
 萬一ノ場合ハ日本軍ノ應援アルヘキコトニ信賴シ警備上意ヲ強クシ
 居ル状態ナリ

如斯狀況ナルヲ以テ中央時局ノ惡化若クハ裏面的策動等ニ依ル政變
 等アラサル限リ當地方ハ除々ニ平靜ニ復スルモノト思考セラル
 此段報告ス

外務省

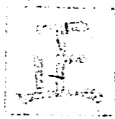
9.12

IMT 361

224103

0222

881



18 - 2 - 51

第 號

在間島岡田總領事ヨリ幣原外務大臣宛

間島 昭和六年十一月十一日附

同 六年十一月十七日着

公信機密第一三七四號

延吉市政籌備處長ノ新任挨拶並施政方針ニ
關スル訓令ノ件 (本館署長報告)

前延吉市政籌備處長張書翰ハ吉林省新政府樹立ト共ニ歸府ヲ命セラ
レ其ノ後任トシテ延吉縣長啓彬任命セラレタルカ張書翰ハ一時時局
ノ推移觀望中ノ處十月二十九日事務引繼ヲ了シ十一月二日局子街出
發敦化經由吉林ニ赴キタルカ後任啓彬ハ十一月三日附隸下各機關宛
新任ノ挨拶並施政方針ニ付左記譯文ノ如ク訓令シタリト
右報告ス

記

外務省

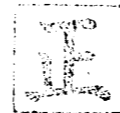
0.12

IMT 361

225 105

0224

881



本信寫送付先

公使、北平、奉天、天津、

外務省

0.12

IMT 361

225 104

0223

REEL No. A-0193

アジア歴史資料センター

リ得タルコト並自己ノ備忘ニ殘レル一端ヲ述ヘンニ元來延吉ハ中國
 人ノ勢力ヨリモ多ク居住スル朝鮮人カ其ノ大多數ヲ占メ當局モ地方
 ノ風俗習慣ヲ主眼トシテ治メ得ヘキモノト思フ均シク中國内國ト雖
 モ他地方トハ其ノ習慣ニ於テ全ク異リ朝鮮人ハ延吉ヲ自己ノ領土ナ
 ルカ如ク觀念ノ下ニ居住シ居リテ此ハ今日ノ社會生存競争ニ於テ狹
 キ地ヨリ廣キ地ヲ訪ネ來ルハ自然ノ理ニシテ從來中央政府ノ取扱來
 レル無條件居住制限令ノ如キハ時勢ニ順應セス無常識ト言ハサルヘ
 カラス彼等朝鮮人ニシテ中國内法ニ於テ定メタル治安ヲ亂スコト
 ナクンハ其ノ居住ヲ制限スル必要ナク多ク開拓セシメ國內ノ富源ヲ
 増進スヘキナリ今日ノ社會ニ於テハ昔日ノ如ク腕力ニ勝チテ他國ノ
 領土ヲ侵略スル封建時代ニ非ス換言セハ中國ハ經濟其他ニ於テ國內
 領土ノ廣汎ナル關係上力及ハサル處ハ他國列強ノ借款ニ依リ早ク開
 發セシムルヲ最モ有利ト言フヘク夫レ國內ノ交通頻繁ナルニ從ヒ文
 化ハ新ニ輸入サルルモノニシテ領土侵略ニノミ虞レ開發ニハ一向無

外務省

9.12

IMT 361

228107

0226

吉林延吉市政籌備處長兼延理和汪四縣行政監督公署訓令第一〇二六
 號
 延吉管下各機關長ニ令ス
 謹啓時節柄嚴寒ニ向ヒ各位益軼掌ノ段欣喜ニ堪ヘサル所ナリ前籌備
 處長張書翰氏ハ官及家事ノ都合上已ムヲ得サル事情有之吉林ニ歸省
 セラレ其ノ後任トシテ十月二十九日不肖其ノ事務ヲ引續キ僭越乍其
 ノ重任ヲ負ヒタル次第ナルカ各官御承知ノ通り元來鈍物勝手モノニ
 シテ或ハ各位ト意見主張等ヲ異ニシ貴意ニ適ハサル點アルヤモ知レ
 ス此點充分諒トセラレ萬分ノ一ナリトモ御援助アラレンコトヲ請フ
 ト共ニ不肖ノ指示措置良シキヲ得サル時ハ御遠慮ナク具申シ矯正下
 サレ度左ニ不肖將來ノ施政方針ノ一端及時局ニ關シ一言シ以テ新任
 ノ訓令トス
 延吉ト云ヘハ不肖ヨリモ古クヨリ在任セラルル各位ニ於テ充分諒承
 セラルル處ニシテ今更贅言ノ要ナキモ不肖延吉ニ於ケル在官以來知

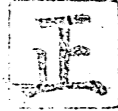
外務省

9.12

IMT 361

227 106

0225



本信寫送付先
 在中公使、北平^省、奉天、吉林、哈爾濱、長春
 各總領事領事
 關東廳警務局長、管下一般

外務省

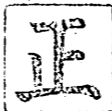
0.12

IMT 362

230

109

0228



關心ニシテ從來ノ施政方針ヲ其儘引用スルニ於テハ爾今中國ハ百千
 年ヲ經ルモ何等百年前ノ中國ト異ル所ナカルヘシ不肖ハ如斯方針ニ
 基キ延吉地方ノ朝鮮人ニ對シテハ充分保護援助シ日本人資産家ノ營
 利ニ關シテハ絕對ニ阻止セス出來得ル限りノ保護ヲ與ヘ一日モ早ク
 延吉地方ヲ開拓セントス延吉施政ノ重要項目ハ先ツ朝鮮人對日中人
 關係ノ善處ニアルモノナリ次ニ細部ニ亙リテハ官吏ノ教養素質ノ改
 善等枚舉ニ遑アラサルモ追テ又指示スヘク各位モ新聞其他ノ報導ニ
 依リ既ニ諒承シ居ラルル所ナランモ國際聯盟ノ決議ニ於テモ十一月
 十六日ヲ以テ完全ニ在滿日本兵ノ撤退ハ斷行サルルコトトナリ何レ
 中日戰展開問題モ一段落ヲ告クルコトトナルヘク徒ラニ排日宣傳ヲ
 ナシ爲ニ日本ト事端ヲ醸スカ如キコトナキ様特ニ御留意相成度シ尙
 本年度内ニ一回各機關長ヲ訪問親シク御面談致スヘシ
 右訓令ス
 十一月三日
 延吉籌備處長 啓 彬

外務省

0.12

IMT 361

229

108

0227